

# 冬富士トレーニング

大和田 篤

【期間】 2021年11月6日(土)~11月7日(日)

【山域】 富士山北嶺

【隊員】 大和田篤(25歳,日本山岳会/京都・滋賀支部) 喜多織人(22歳,無所属)

## ■11月6日(土)

06時20分 東京駅(海拔0m)  
10時30分 富士山駅(標高809m)  
11時30分 吉田口馬返し(標高1450m)  
14時00分 5合目佐藤小屋(標高2230m)  
17時00分 7合目東洋館(標高3000m)

## ■11月7日(日)

03時30分 7合目東洋館出発(標高3000m)  
06時40分 吉田口頂上(標高3710m)  
**07時40分 富士山最高峰剣ヶ峰(標高3776m)**  
08時20分 吉田口頂上(標高3710m)  
09時20分 7合目東洋館(標高3000m)  
11時00分 五合目佐藤小屋(標高2230m)  
12時30分 吉田口馬返し(標高1450m)



1日目 GPS データ(赤線) 距離 5 km 行動時間 5 時間 30 分(休憩込み)



2日目 GPS データ(赤線)距離 19 km行動時間 9 時間(休憩込み)

## 【1日目】

緊急事態宣言明けという事もあり、東京駅から富士山駅までのバス移動で渋滞につかまり当初の出発予定を大幅に過ぎてしまったが計画に余裕を持たせており問題がないと判断し、昼食を食べてからタクシーで吉田口馬返しまで移動。お互いにあまり高所に強くないのでゆっくりと歩きながら体を慣らしながら高度を上げていき、佐藤小屋に到着。

ここで冬靴と冬服に着替え行動再開、6合目の安全指導センター位から雪がうっすらと見え始めるがアイゼンを出すほどの場所ではなかった、赤い鳥居が目印の本7合目手前から傾斜が強くなり雪が固くなり始めアイゼンを装着。暗くなる前に7合目東洋館に到着できテント設営後に夕食を済まし早朝の行動に備えた。

## 【2日目】

深夜1時出発予定で12時にアラームをかけて起きると、なんと雪が降っており視界の効かない悪天候。パートナーと相談した結果、様子見で早朝3時スタートに変更すること、時間を変更してもやはり雪は降っていたが先ほどよりは収まり、無風であった為、登頂に問題がないと判断し行動開始。

やはり天気は悪かったが、高度を上げるにつれて雲が晴れていき、日の出とともに雲海も消え相模湾がよく見えるほどの快晴に、パートナーは初めての富士山で呼吸法に苦戦して吉田口頂上に着くまでは高山病の症状が出ていたが、徐々に慣れてきて剣ヶ峰に着くころにはすっかり元気になっていた。

剣ヶ峰登頂後お鉢巡りをして7合目まで下山、デポした装備品を回収し6合目でアイゼンを脱ぎ、5合目の佐藤小屋でスニーカーに履き替え、冬用の装備品をしまい馬返しまで下山。

タクシーでふじやま温泉まで移動、体を休めてから新宿のボルダリングジムで3時間ほどボルダリング。

## 【感想】

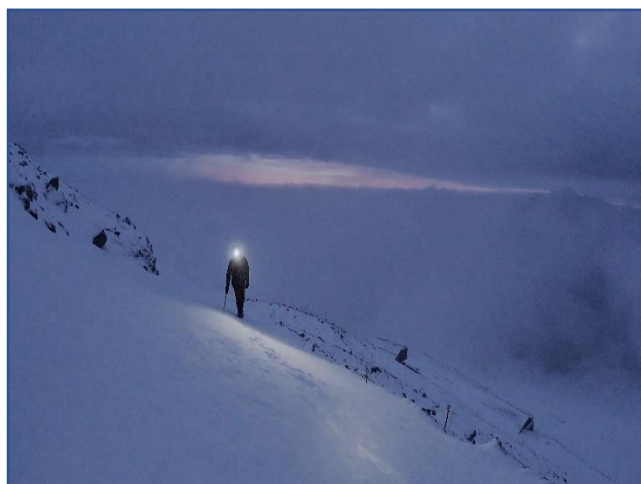
降雪で下山しようか迷ったが、様子見をしたのが功を奏した。12月中旬の本番前に、剣ヶ峰まで到達でき良い予行練習ができたと思うが、12月の厳しい富士山に備えて気を引き締めていきたいと思う。



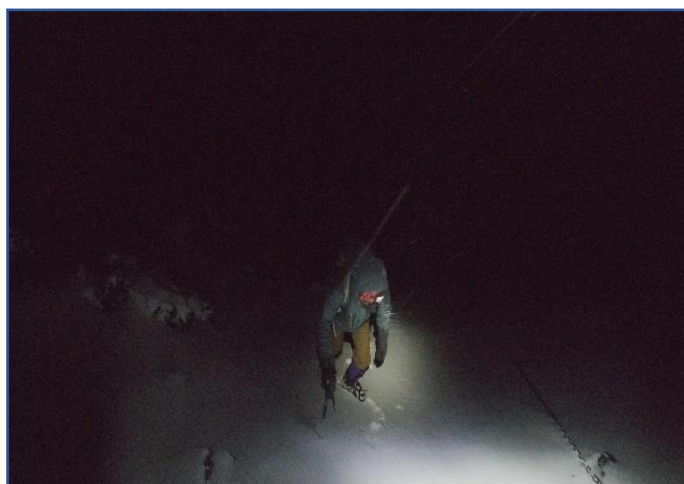
剣ヶ峰にて(黄緑ジャケットが大和田)



お鉢巡り中の喜多



9合目付近



8合目付近

撮影 大和田 篤